

## WELFARE-TO-WORK（福祉から就業へ）プログラムの通知 本通知を読んだり、理解するために支援が必要な場合は郡までお問い合わせください。

### WELFARE-TO-WORKとは？

- Welfare-to-Workプログラムでは、仕事を見つけるための教育、職業訓練およびカウンセリングを提供します。
- Welfare-to-Workで提供される支援の例：
  - 就職探しを支援します。
  - 教育、職業訓練／現場訓練を支援し、基本的な読解力、数学、英語を教えます。
  - 実務経験が得られるよう支援します。
  - 必要に応じてあなたや家族にカウンセリングを提供します。
- Welfare-to-Workには24ヶ月の時間制限（48ヶ月の時間制限内）があります。
- Welfare-to-Workの24ヶ月の時間制限内に、選択可能なさまざまな活動に参加することができます。
- Welfare-to-Workの24ヶ月の時間制限が終了すると、同額のキャッシュエイドを継続的に受給するために参加できる活動の選択肢が少なくなります。
- Welfare-to-Workでは、必須活動に参加するために必要な支援サービスの手配／支払いの支援を提供します。これには、養育ケアや交通費、仕事を得るために必要な特別な道具や被服などの費用が含まれます。必要な支援サービスの支払いにキャッシュエイドを使用しないで済むように、前金を要請することができます。
- Welfare-to-Workでは、利用できる養育ケアの種類と場所を説明します。

### WELFARE-TO-WORKへ参加する必要がある場合

- カリフォルニア州就業の機会と子供に対する責任（CalWORKs）プログラムからキャッシュエイドを受給しており、参加が免除されていない場合、Welfare-to-Workに参加する必要があります。
- Welfare-to-Workが免除される場合は、参加する必要はありません。以下の場合免除となります。
  - 16才未満または60才以上
  - Welfare-to-Workプランの一環として通学する場合を除き、16才、17才または18才で高校またはアダルトスクールにフルタイムで通学する場合
  - 扶養家族、あるいは裁判所の被後見人、もしくは里子に出される危険がある子供の親以外の親類の介護者
  - 身体的もしくは精神的に、最低30日間で、定期的に就業またはWelfare-to-Work活動に参加が不可能な場合
  - 出生から23ヶ月の1人の子供を含めた親もしくは介護者。**この免除は1度のみ利用できます。**
  - 6ヶ月以下の子供の親もしくは介護者（郡より12ヶ月の場合あり）。**この免除は1度のみ利用できます。**

### WELFARE-TO-WORKへ参加する必要がある場合（続き）

- 12週未満の子供の親もしくは介護者（郡により6ヶ月の場合あり）免除対象となる子供の年齢については担当者にお問い合わせください。
- 妊娠中で医師から就業またはWelfare-to-Work活動への参加ができないと言われている場合、もしくは参加がすぐに就業へと結びつかない、職業訓練活動が適切ではないと郡が判断する場合。
- 同居中の自分自身の世話が不可能な者（病気や障害などのため）の介護のために在宅の必要があり、就業が困難、またはWelfare-to-Workに参加できない場合。
- Cal-Learnプログラム（ティーンの子供に向けたCalWorks教育プログラム）を受けている妊婦や親であるティーンの場合、もしくはCal-Learnプログラムを受けている間に高卒もしくはそれと同等の資格を得た場合、上記の免除が適用されない場合があります。受給資格担当者またはCal-Learnのケースマネージャーまでお問い合わせください。
- 両親が支援を受けている場合でひとりの親がすべての必須時間に参加する場合、もう一方の親は参加が免除されます。
- 参加から免除される必要があると思う場合、担当者からWelfare-to-Workからの免除を要請するための書類（CW 2186A）を入手してください。Welfare-to-Workが免除されるか、参加する必要があるかについては郡から連絡があります。Welfare-to-Workへの参加が不必要な場合でも参加を要請することができ、参加が認められる場合はその旨の連絡があります。
- Welfare-to-Workから免除されない場合、Welfare-to-Workに参加する必要があります。参加する必要がある場合、最初の予約日が記載された通知が送付されます。

### WELFARE-TO-WORKで要請される事項を行わない場合

- Welfare-to-Workに参加する必要がある場合：
  - 必須事項を行わなかった理由を述べる機会が与えられます。
  - 妥当な理由がなく、問題を修復するためにWelfare-to-Workで要請される事項を行わなかった場合、キャッシュエイドは減額されます。
- Welfare-to-Workへの参加が要請されていないのに、Welfare-to-Work活動に志願して参加した場合：
  - 必須事項を行わなかった理由を述べる機会が与えられます。
  - Welfare-to-Work活動に志願し、妥当な理由がないにもかかわらず参加しなかった場合、キャッシュエイドは減額されませんが、ボランティアとしてすぐにWelfare-to-Workに戻ることができない場合があります。

就職して支援の受給を中止した場合においても、仕事を続けるためにサービスが必要であり、必要な支援サービス費用が他のどこからも得られない場合、郡では仕事開始から最初の12か月間まで必要な支援サービス費用を継続して支払うことができる場合があります。また、支援を辞退した後も最長2年間、養育ケアサービスが受けられる場合があります。また暫定的Medi-Cal（カリフォルニア州医療支援プログラム）も12ヶ月間受けられる場合があります。

あなたには、Welfare-to-Workが提供する養育ケアサービス、交通サービス、その他のサービスをいつでも要請できる権利があります。電話や対面、書面で担当者までお問い合わせください。

あなたには、Welfare-to-Workへの参加に関する郡の決定に同意できない場合、州聴聞会を要請する権利があります。